

2017年度 特設科目B（名城進路講座一大志を抱け）火曜5限（前期）
講義概要

担当者 伊川 正樹

1. 出欠

- ・ 「出席カード」（毎時間中に配布）の提出によって確認する。
- ・ 提出期限は、講義終了後、その週の金曜日まで。
- ・ 提出先は、学務センター3階レポート提出ボックス。
- ・ 出席とレポート・質問用紙の提出によって平常点として評価の対象とする。定期試験は行わない。
- ・ カードリーダーによる出欠確認は行わない。

2. レポート

- ・ 毎回、講師がレポートのテーマを提示する。
- ・ 全11回の講演のうち、3回分以上のテーマを選んでレポートを提出すること。また上記3回分とは別に、次の最終課題も単位認定の条件である。

最終課題のテーマ

この講座の全講師からのメッセージの中で、最も印象に残るものはどの講師のどんな言葉ですか？なぜそのメッセージが印象に残っていますか？複数の講師の言葉・メッセージの内容を挙げて説明してください。

※ 提出期限 8月1日(火)18:30

- ・ レポートのテーマおよび提出期限は、教室で配布する。また、法学部ホームページ（URLは下記参照）にも掲載する。
- ・ 用紙の種類は問わないが、必ず A4の用紙で作成すること。A4以外の用紙で作成したものは提出したものとは扱わない。
- ・ 用紙の最上部に、学部・学科・学年・学籍番号・氏名を明記すること。
- ・ ワードプロ・手書きを問わない。ただし手書きの場合、丁寧に書くこと。
- ・ 複数枚にわたる場合には、しっかりとクリップ留めをすること。ホチキスは使用しないこと（コピーして講師に渡すため）。
- ・ 提出場所は、学務センター3階レポート提出ボックス（教室では受け取らない）。

3. 講師への質問

- ・ 講義の最後の 15～20 分程度、質疑応答の時間を取るので、講師に対して積極的に質問しよう。
- ・ 各回の初めに、質問用紙を配布する。質問用紙は講義終了後に回収する。特に講師からの回答を希望する場合には、その旨を明記すること。
- ・ 挙手による質問は、および質問用紙の提出は、平常点の加算要因として考慮する。ただし、挙手による質問を高く評価する。
- ・ 第 8 回（5 月 23 日）と第 15 回（7 月 11 日）に、講師から寄せられた質問の回答内容を紹介する。

質問のポイント … “質問力” を高めるために

- ※ 先輩たちは質問されることを望んでいます。質問や反応があれば、講演をしてよかったと感じることでしょう。自分自身の“質問力”を高めるためにも、積極的に質問をしましょう。
- ・ 語られた内容をさらに掘り下げてみて、その具体的な内容を聞いてみよう。
- ・ 個人的な経験や詳しい内容でも、先輩たちは答えられる範囲でできるだけ質問に答えてくれます。恥ずかしがらずに、積極的に質問してみよう。
- ・ レポートのテーマについても、どのような趣旨で書けばいいのか、どのくらいのことまで書けばよいのかなど、確認してみよう。

4. 受講態度・マナー

- ・ 先輩講師は、後輩である学生諸君のために、相当の時間をかけて講義の準備をし、当日も仕事を休んで講義に来てくださっている。そのような先輩たちのご尽力に対して失礼のないような態度で受講すること。特に、私語、途中退出、居眠り、携帯電話等を触る行為など、厳に慎み、先輩に対する敬意を払うこと。
- ・ 尋ねてみたいことなどがあれば、授業後でも先輩講師に積極的に質問すること。
- ・ 先輩たちは、後輩の積極的な問いかけを待っています！

5. その他

- ・ 各回の講師情報については、法学部ホームページに随時公開する。
法学部 HP <http://law.meijo-u.ac.jp/sikaku/taishi/taishi.html>
- ・ 講師に対して聞きたいことがあれば、遠慮なく積極的に質問すること。
- ・ 後期火曜 5・6 限開講の「特設科目 B（名城進路講座—考動力）」も併せて受講することが望ましい。
- ・ その他、質問等は、講義担当者の伊川まで尋ねること。